

## 南三陸町生活支援商品券を発行します

町では、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響による原油価格・物価高騰を受け、新たな支援策として、「南三陸町生活支援商品券」を発行します。

この商品券は、1セット5,000円で町商店会連合会の加盟店などで使える「地元券」と全ての取扱店で使える「共通券」の2種類がセットになっています（飲食、宿泊、物品購入など、全てに使用できます）。

商品券概要

- 商品券内容** ▶ お一人様1セット 5,000円  
※500円券10枚つづり（地元券3,000円・共通券2,000円）
- 発行対象者** ▶ 南三陸町内全町民（令和4年9月1日住民登録者）
- 使用可能期間** ▶ 令和4年10月1日（土）～令和5年1月31日（火）
- 使用可能店舗** ▶ 商品券に同封されている「取扱店一覧」、町ホームページおよび店頭に掲示する「取扱店証」をご確認ください。
- 使用方法** ▶ 取扱店で現金と同様に使用できます。  
※ただし、お釣りは出さないものとします。
- 使用対象** ▶ 取扱店の商品およびサービスなど  
※商用決済資金、切手・印紙・プリペイドカード、その他商品券など換金性の高い物、不動産、金融商品、たばこなどは対象外です。



地元券



共通券

☎ 企画課 政策調整係 ☎46-1371

## 令和4年度 南三陸町教育功績者表彰の候補者について

教育委員会では、町の学校教育、社会教育、芸術文化、スポーツその他教育の振興に特に寄与した者に対し、表彰を行います。

表彰は、東日本大震災前に実施していた生涯学習推進大会に替わる新しい取り組みとして、令和4年11月3日（木・祝日）に実施を予定する「南三陸町文化・スポーツ夢づくり大会」において行います。

令和4年度を第1回とし、次年度以降も継続して実施していくことと予定していますので、学校教育活動以外の活動で次の基準以上の功績をあげた個人または団体の皆様は、随時、担当まで情報をお寄せいただきますようお願いいたします。

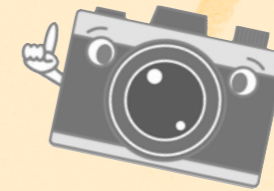
- 県内大会などにおいて上位に入賞し、東北地区大会等に出場した者
- 国体などの全国大会に出場し業績をあげた者

※「文化・スポーツ夢づくり大会」の詳しい内容は、決まり次第、お知らせします。

☎ 教育委員会事務局 生涯学習係 ☎46-1341

広報担当からのお知らせ

この広報10月号は、9月16日現在の情報です。新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、この号でお知らせしているイベントなどが中止や延期となる可能性があります。その際は、町HP、防災行政無線やフェイスブックなどでお知らせしますので、ご了承ください。



## 秋葉復興大臣が本町を訪問しました

9月14日（水）、8月10日に就任された秋葉復興大臣が宮城県内の4カ所を訪問し、そのうち当町の南三陸町震災復興祈念公園を視察されました。当町の視察では、祈念公園での献花、黙祷をされ、10月1日オープン予定の南三陸311メモリアルの前で会見を行いました。秋葉復興大臣は、会見で「引き続き寄り添いながら生業の再生だけでなく、活況となる状況に早く戻っていきたい。また、心のケアなど目に見えないところの問題にも取り組んでいきたい。」と語りました。



## 百寿のお祝い 今野きよ子さん(☎沖田)

9月1日（木）に百寿を迎えた今野きよ子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。きよ子さんは、好き嫌いがなくなんでも食べるそうで、特にウニやホヤなどの海産物が大好きだそうです。ご長寿の秘訣は、地区で開かれるラジオ体操やお茶会によく参加し、近所の人たちとよくコミュニケーションをとっていることだそうです。今でも週1回は散歩をするきよ子さん。いつも気にかけてくれる近所の人たちへの感謝の気持ちを改めて語られました。お子さんが3人、お孫さんが5人、ひ孫さんが9人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。きよ子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。



## 百寿のお祝い 佐藤かつゑさん(☎蛇王)



9月8日（木）に百寿を迎えた佐藤かつゑさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。かつゑさんは、好き嫌いがなくなんでも食べるそうで、甘いものが好きだそうです。普段はテレビを見たり、洗濯物をたたむ手伝いをしているかつゑさん。若いころは農業、漁業、養蚕をしていたそうで、息子さんに話を聞くと、とにかく昔から仕事を一生懸命していたことが印象に残っているとのことでした。お子さんが6人、お孫さんが10人、ひ孫さんが14人いらっしゃるそうで、ご家族もきつとご長寿を喜んでいることでしょう。かつゑさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。

## 百寿のお祝い 阿部ときのかさん(☎荒町下)



9月14日（水）に百寿を迎えた阿部ときのかさんに、町からお祝い金と花束が贈られました。ときのかさんは、昔からよく働く人で、若いころは農業をしていたそうです。毎日日記を書いていたときのかさん。文章力が高く、とてもきれいな字を書くそうです。姪にあたる、さとりさんに話を伺うと、とにかく真面目で正直な人だったと話してくれました。ときのかさんは、兄妹や甥、姪たちとよく旅行に行っていたそうで、みなさんもきつとご長寿を喜んでいることでしょう。ときのかさん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。